

第21回

北海道胃瘻研究会



令和6年

11/9 土

13:00~17:15

会場 札幌医科大学 臨床教育研究棟 1F
札幌市中央区南1条西16丁目
地下鉄東西線 西18丁目駅5・6番出口から徒歩3分

|| 特別講演1 (共催セミナー)

司会 東札幌病院 日下部 俊朗

『パーキンソン病に役立つ胃瘻』

さっぽろ神経内科病院 院長 川島 淳 先生

共催 アツヴィ合同会社

|| 特別講演2 (共催セミナー)

司会 札幌西円山病院 藤本 篤士

『経口摂取に向けた取り組み ～口から食べるプロジェクトと、その考え方』

桜十字病院 呼吸器内科 安田 広樹 先生

共催 株式会社 大塚製薬工場、イーエヌ大塚製薬株式会社

第21回

北海道胃瘻研究会

日時 令和6年11月9日(土) 13:00~17:15 (12:30受付開始)

場所 札幌医科大学 臨床教育研究棟 1F

参加費 医師 3,000 円 医師以外 1,000 円

事前参加申し込みは不要ですので直接会場にお越しください。

地下鉄東西線
西18丁目駅 5・6番出口

最新の情報は
<https://h-peg.jp/>
で案内中!!



プログラム

- || 開会の辞 13:00~13:05
北海道胃瘻研究会代表世話人
くら内科内視鏡クリニック 倉 敏郎
- || 一般演題 13:05~13:55
座長 札幌しらかば台病院 菊地 剛史
1. 当院におけるとろみ水作成方法の統一に向けた取り組み
札幌しらかば台病院 佐々木恵里子
 2. ~特定行為看護師が安全に胃ろうカテーテル交換を行うために~
清水赤十字病院 後藤靖興
 3. イディアルボタンZERO®を用いた胃瘻の運用
NHO旭川医療センター 横浜 史郎
 4. 「今があるのは胃瘻のおかげです」—胃瘻を造って11年、
今も経口摂取している患者の記録—
宮の森記念病院 真崎 茂法
 5. イディアルボタンZEROの有用性と課題~自験例を含めて~
くら内科内視鏡クリニック 倉 敏郎

- || 特別講演1 (共催セミナー) 13:55~14:45
司会 東札幌病院 日下部 俊朗
胃瘻造設を伴う進行期パーキンソン病治療
さっぽろ神経内科病院 院長 川島 淳 先生
(共催:アッヴィ合同会社)

- || 企業プレゼンテーション 14:45~15:05
- || 休憩 15:05~15:20
企業展示をご覧ください
- || ワークショップ 15:20~16:10
テーマ「食べるための胃瘻を多職種で考えよう!」
司会 くら内科内視鏡クリニック 倉 敏郎
札幌西円山病院 藤本 篤士
- 医師の視点
胃ろうから経口栄養への移行の目安や注意点
熊本桜十字病院 呼吸器内科 安田 広樹
 - リハの視点
リハのポイント,基本的進め方
麻生脳神経外科病院 言語聴覚士 源間 隆雄
 - 看護の視点
看護の役割と多職種との連携方法
麻生脳神経外科病院 看護師 秋森 亜紀
 - 薬剤の視点
患者にやさしい薬の選択
札幌しらかば台病院 薬剤師 小日向 真澄
 - 栄養の視点
嚥下調整食と特性,進め方
札幌西円山病院 管理栄養士 阿部沙耶香
- || 特別講演2 (共催セミナー) 16:10~17:10
司会 札幌西円山病院 藤本 篤士

- 『経口摂取に向けた取り組み
~口から食べるプロジェクトと、その考え方』
桜十字病院 呼吸器内科 安田 広樹 先生
(共催:株式会社 大塚製薬工場、イーエヌ大塚製薬株式会社)

- || 閉会の辞 17:10~17:15
第21回北海道胃瘻研究会会長
札幌西円山病院 藤本 篤士
第22回北海道胃瘻研究会会長
札幌しらかば台病院 見田 裕章

主催 北海道胃瘻研究会

後援 北海道医師会、札幌市医師会、北海道看護協会、北海道栄養士会、北海道在宅ケア事業団、北海道消化器内視鏡技師会

*本講演会は日本臨床栄養代謝学会認定資格 栄養サポートチーム専門療法士認定講座(2単位)として開催致します。